

# 自動車登録番号標及び車両番号標の地域振興等への活用に向けた業務委託仕様書

## 第1 委託業務名

自動車登録番号標及び車両番号標の地域振興等への活用に向けた業務

## 第2 業務の目的

地域名表示が水戸の自動車登録番号標及び車両番号標（以下、「水戸の自動車登録番号標等」という。）に地域の風景や観光資源の図柄を導入することにより、魅力を全国に発信する「走る広告塔」として、地域振興・観光振興に活用する。

## 第3 委託期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

## 第4 業務内容

地域振興への活用のため、水戸の自動車登録番号標等に図柄を導入するため、以下の業務を行うこと。

### (1) 水戸の自動車登録番号標等に相応しい図柄デザインの制作

- ・図柄は、水戸の自動車登録番号標等の管轄市町村の地域振興・観光振興に結びつくものであり、当県及び水戸市の木である「梅」を基調とし、「梅」以外の図柄を組み合わせる場合は、水戸市又は水戸の自動車登録番号標等の管轄市町村と結びつきが強いモチーフにすること。（例：偕楽園、弘道館、ネモフィラ、海浜公園、メロン等）
- ・制作にあたってはデザイナーを活用することとし、デザインを検討・選定した理由について、別紙「図柄案選定理由書（以下、「理由書」という。）」に具体的に記載すること（コンセプト、視認性等）。
- ・初回の図柄デザインは県と協議・調整のうえ、令和8年8月上旬頃までを目安に、理由書を添付し、10案程度提出すること。その後、3案程度まで絞り込みを行う間に複数回、協議・調整し、図柄デザインの修正対応も行うこと。
- ・なお、制作にあたっては、国土交通省が定める以下のガイドライン等に準拠すること。

<主なガイドライン等>

- ・図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱
- ・ナンバープレートの図柄デザイン制作に関するガイドライン
- ・図柄入りナンバープレート データ作成について

※上記ガイドライン等は本業務履行期間中に追加・改定される場合があるが、それぞれ最新版に準拠すること。

※図柄完成（納品）後、国土交通省における図柄の審査において視認性の確保等の観点から、修正指示等があった場合には対応すること。

### (2) 水戸の自動車登録番号標等の管轄市町村の住民を対象とするアンケート調査の実施

- ・県と協議・調整のうえ、絞り込んだ3案程度の図柄デザインから水戸の自動車登録番号標等に相応しい図柄を選定するための水戸の自動車登録番号標等の管轄市町村の住民を対象としたアンケート（以下、「アンケート」という。）を令和8年11月中旬頃を期限とし、2～4週間

程度実施すること。

<今後のスケジュール（予定）>

令和8年8月上旬頃 10案程度提出  
令和8年8月下旬頃 5～7案程度に絞り込み  
9月頃 3案程度に絞り込み  
10月頃 アンケート実施

- ・アンケートは、専用のWEBサイトを作成し、アンケートフォームの管理、結果集計を行ったうえで県に報告すること。アンケートの質問項目については、年代、性別、自動車保有の有無、居住地、水戸の自動車登録番号標等に相応しい図柄等を想定しており、詳細は別途協議のうえ決定する。
- ・アンケートフォームの作成にあたっては、二次元コード等を用い、水戸の自動車登録番号標等の管轄市町村の住民が容易かつ確実にアクセスできるよう視認性及び利便性に配慮した設計とすること。

### (3) アンケート実施に係る各種広報媒体による情報発信

- ・アンケート実施について、水戸の自動車登録番号標等の管轄市町村の住民に情報が行き渡るよう、各種広報媒体（チラシ、WEB広告等）を活用した手法を、企画・提案し、県と協議のうえ実施すること。
- ・なお、媒体の選定及び広告手法の設計にあたっては、ターゲット層への到達性、費用対効果、並びに情報伝達の効率性を十分に検討し、最適な手法を提案すること。

### (4) WEBサイト制作・保守・管理

- ・(2)により制作したWEBサイトについて、下記事項の通り、制作、保守、並びに管理を行うこと。

ア WEBサイトの全体構成・デザイン、具体的な掲載内容の企画

- ・WEBサイト制作にあたっては、令和8年10月頃に予定しているアンケートが実施可能なシステム構築をしておくとともに、さらに効果的なシステム構成があれば積極的に提案すること。
  - ① 図柄入り水戸の自動車登録番号標等の概要（導入主旨・目的、全国の自動車登録番号標及び車両番号標（以下、「自動車登録番号標等」という。）等の紹介、ユーザーが図柄入り自動車登録番号標等を選択した場合の寄付金の使途等について）
  - ② 投票方法説明及び投票ページ（WEBサイトから、閲覧者が一人一票のみ投票ができる仕組みを提案すること）
  - ③ 図柄デザインの紹介
  - ④ 普及啓発活動のための広報の実施
    - ・トップページについては、水戸の自動車登録番号標等への図柄導入が自動車ユーザーに魅力的であると感じてもらえるようなデザインとし、サイト内ではユーザーがストレスなく閲覧でき興味を惹く工夫を行うこと。
- ・令和8年10月頃に、トップページを立ち上げることとし、その後、事業の進捗に合わせて、各ページの項目を公開すること。
- ・PC、タブレット、スマートフォンなど、複数の異なる画面サイズに対応できて見やすい仕様とすることが望ましい。

イ セキュリティ対策

- ・ウイルス対策については、最新のパターンファイルを使用したチェックを行うとともに、不正アクセス、ハッキング等についても対策を講じること。
- ・セキュリティーホールのチェックを行い、問題が発見された場合は速やかに対策を施すこと。
- ・常に最新のセキュリティーインシデントの情報を収集し、対策に努めること。
- ・本事業において使用した機器等を廃棄する場合は、データ消去ソフトウェア等を使用し、情報が復元できないような対策を講じること。
- ・システムにて取り扱う情報は、全て暗号化処理（SSL等）を施し、通信すること。
- ・県が定期的に行うセキュリティー診断（監査）等については、その指示に従い、適切に実施するとともに、異常が検出された場合は速やかに改善策を講じること。
- ・上記のほか、「安全なウェブサイトの作り方（独立行政法人情報処理推進機構セキュリティーセンター）」を参考にセキュリティー対策を講じること。

#### ウ 運用サーバ

- ・運用サーバは、受託者において準備するものとする。

#### エ ウェブサイトの保守・運用

- ・受託者は受託期間中、以下の要件を満たす適切なシステム保守・管理を行うものとする。
  - ①本ウェブサイトの既存ページの修正、県が必要とする機能の整備。
  - ②適切なウイルス対策、外部からの不正アクセスに対し、情報漏えい、改ざんを防ぐ措置を施すなど、十分なセキュリティー対策を確保し、安定して稼働できると見込まれるシステムを維持すること。
  - ③各種ログについて異常がないか確認し、異常があった場合には県へ報告すること。
  - ④不正なアクセス等により、ウェブサイトの改ざんや消失などが生じた場合には、原因を速やかに解明し、対策を講ずるとともに県へ報告すること。

## 第5 成果品

以下の成果品を提出すること。なお、詳細は、協議・調整の上決定する。

### (1) 成果品の提出

ア「第4 業務内容（1）」で制作した図柄デザインについて、以下により提出すること。

- (ア) 図柄デザイン（紙） 3部
- (イ) 色見本となる印刷物（紙） 3部
- (ウ) 上記(ア)、(イ)の電子媒体（CD-ROM 又は DVD-ROM） 3部

イ「第4 業務内容（2）」で実施したアンケート調査の結果について、以下により提出すること。

- (ア) アンケート調査集計結果（紙） 3部
- (イ) 上記(ア)の電子媒体（CD-ROM 又は DVD-ROM） 3部

### (2) 成果品のデータ形式

ア「第4 業務内容（1）」で制作した図柄デザイン

- ・AI 形式
- ・PDF 形式
- ・画像形式(JPEG、GIF 又は PNG)

イ「第4 業務内容（2）」で実施したアンケート調査の結果

- ・Word/Excel/PowerPoint 形式（編集可能データ）

## **第6 納入場所**

茨城県政策企画部地域振興課 企画調整グループ

## **第7 その他**

### **(1) 実施体制の確保**

受託者は、履行期限内に円滑に事務が進められるよう、十分な体制で臨むこと。また、業務にあたっては、安全面に十分配慮すること。

### **(2) 協議事項**

仕様書に定めがない事項や業務に疑義が生じたときは、その都度、県と受託者が協議をして業務を進めるものとする。なお、本仕様書は県と受託者が協議のうえ、必要に応じて改定することができる。

### **(3) 成果物等の帰属**

- ・ 本事業によって得られたすべての成果物は、原則として県に帰属するものとする。
- ・ 業務実施にあたり使用される全ての画像等は、必ず著作権者の了承を得て使用すること。仮に第三者から権利侵害、損害賠償等の主張がなされたとしても、受託者が自らの責任で対処することとし、発注者は一切の責任を負うものではない。
- ・ 委託契約期間後のWEBサイトについて、受託者以外の者による運営又は県による自主運営となった場合は、県の指示に従い、サイトに掲載されているすべての情報（データ）を速やかに提供し、切れ目なくサイトが運営できるよう協力すること。その際、サイトの移行が容易に行えるよう、アプリケーション等は汎用性が高いもので構築すること。